



Mayors for Peace Newsletter

平和市長会議ニューズレター

編集・発行 平和市長会議事務局

2011年3月 第30号

3月11日に東北地方、関東地方を襲った東北地方太平洋沖地震・津波、及び原発事故により被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。このたびの未曾有の大災害により、犠牲となられた皆様に哀悼の意を捧げますとともに、一日も早い復興と安全な生活の再開をお祈りいたします。平和市長会議は世界の加盟都市に復興支援への協力を呼びかけております。

2020核廃絶広島会議を開催

平和市長会議と広島市は2010年7月27日(火)から29日(木)まで「2020核廃絶広島会議」を開催し、2010年5月に開催されたNPT(核不拡散条約)再検討会議の成果を踏まえ、2020年までの核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた一刻も早い取組と国、都市、NGO、市民団体の連携の重要性について、活発な協議を行いました。会議には、平和市長会議加盟都市を始め有識者や平和NGO、各国政府関係者等約300人が参加しました。閉会式では、核兵器廃絶の実現に向けた決意と提言を取りまとめた2020核廃絶広島会議アピール(ヒロシマアピール)を発表しました。



(アピールの抜粋を2面に掲載。会議詳細は平和市長会議ホームページをご覧ください)

■ 7月27日(火)

参加者は、15時から旧広島市民球場に展示されていた折り鶴展示や、原爆ドーム、原爆の子の像を視察し、原爆死没者慰霊碑に参拝・献花した後、平和記念資料館を視察しました。18時からは歓迎レセプションが行われました。

■ 7月28日(水)

午前9時、開会式は広島市役所合唱団による歌で開幕し、広島市長による開会挨拶や来賓祝辞に続き、潘基文国連事務総長のメッセージが紹介されました。



続いて、広島で16歳の時に被爆された松島主次郎(まつしまけいじろう)さんによる被爆体験証言がありました。

10時から、ダグラス・ロウチ中堅国家構想名誉議長が「今こそ核兵器禁止条約を」と題し基調講演を行いました。ロウチ氏は、元カナダ軍縮大使及び上院議員を務めるなど、核軍縮分野に多大な貢献をされており、この功績を称え、「広島市特別名誉市民称号」が贈られました。

11時からの会議Iでは、「NPT再検討会議の結果を踏まえた今後の活動のあり方―核兵器廃絶への次のステップ―」をテーマに、国連軍縮部、外務省、長崎市長や、核軍縮NGO等の代表14人がそれぞれの立場での今後の取組について発言しました。



14時からの会議IIでは、「世界的な展開に向けて―国、都市、NGOの連携及び平和市長会議の役割―」と題し、テルデ市(スペイン)、マハラガマ市(スリランカ)、長生村(千葉県)、焼津市(静岡県)の代表のほか、コスタリカ、ハイチの大使館関係者、平和NGO代表等計25人が、市民と自治体や国が連携して取り組んだ実績や展望などについて発言しました。

17時20分からの市民対話集会では、「核兵器廃絶に向けて、私たち市民は何をすべきか」と題し、「Yes!キャンペーン実行委員会」、「核廃絶!ヒロシマ中高生による署名キャンペーン広島女学院高等学校署名実行委員会」、



「広島県生活協同組合連合会」の3つの市民団体からの活動報告の後、参加者からの活発な意見交換が行われました。活動報告をした3団体には、感謝状が贈られました。

■ 7月29日(木)

9時から、「国内加盟都市会議」を開催しました。同会議には、佐倉市(千葉県)、新宿区(東京都)、中央区(東京都)、中川村(長野県)、瑞穂市(岐阜県)、焼津市(静岡県)、草津市(滋賀県)、高石市(大阪府)、八尾市(大阪府)、朝来市(兵庫県)、高松市(香川県)、天草市(熊本県)、広島市(広島県)の国内13自治体が参加し、それぞれの自治体の取組を紹介しました。

10時からの会議IIIでは、「2020年までの核兵器廃絶に向けて」と題し、会議Iと会議IIの総括が行われた後、中川村村長と原水爆禁止日本国民会議(原水禁)議長が今後の取組などについて発言し、会場からも様々な意見が寄せられました。

13時20分からの閉会式では、まず12人のアピール起草委員が紹介され、起草委員会による審議経過が報告された後、市民代表により「ヒロシマアピール」が発表されました。広島市長による閉会挨拶に続き、エリザベト音楽大学付属音楽園プエリカントアンテスと広島ジュニアコーラスの歌声で会議は閉幕となりました。



また、2日間にわたり、8団体によるブース展示が行われ、各団体の活動の紹介や、参加者も交えての折り鶴作成などが行われました。

ヒロシマアピール (原文は英語、一部要約)

平和市長会議と2020核廃絶広島会議の参加者は、以下のことを決意する。

- (1) 国連事務総長の5項目提案を支持するとともに、各国政府に対し、2020年までに核兵器を廃絶するための核兵器禁止条約の締結に向けて、即時交渉を開始することを求める。各国政府は、志を同じくするNGOと協力し、条約締結に向けた交渉を促すための特別な核軍縮に関する会議を2011年に開催するべきである。
- (2) 全ての政府が核兵器の開発、使用等を中止することを求める。各国は、包括的核実験禁止条約(CTBT)を緊急かつ無条件に発行させるようさらなる努力をすべきである。
- (3) 各国政府に対し、核兵器及び軍事関連支出を大幅に削減し、その予算を市民の便益及び環境保全のために利用することを求める。
- (4) 核兵器の共有を合意している、又は核の傘に隠れている全政府に対し、軍事・安全保障の理念から核兵器を排除することを求める。
- (5) 各国政府に対し、核関連輸出を行わないことにより、核拡散防止の責務を果たすことを求める。
- (6) 唯一の被爆国として核兵器廃絶の先頭に立つと明言した日本政府に対し、先進的・積極的に行動することを求める。
- (7) 各国政府及び国連に対し、広島・長崎の被爆の実相と被爆者のメッセージを正しく伝える核軍縮教育を広く実施することを求める。
- (8) 各国の都市や自治体に対して、平和市長会議に加盟し、一刻も早い核兵器廃絶に向けて市民と共に取り組むよう働きかける。
- (9) 日本国内において、平和市長会議は加盟都市を倍増させ、日本政府や国連に核兵器廃絶に向けたより効果的な行動を取るよう要請を行う。
- (10) 核兵器廃絶を目指す世界的ネットワークやNGO、市民団体相互の連携を強め、核兵器禁止条約及び具体的な核軍縮措置に対する地球市民社会の要求を強化・増幅する。



2020核廃絶広島会議で「ヒロシマアピール」を発表(2010年7月)

長崎市長がマンチェスター市を訪問 (2010年11月3日～7日)

2010年11月、田上長崎市長(平和市長会議副会長)は、非核都市宣言30周年を迎えるマンチェスター市を訪問しました。まず、長崎市と日本非核宣言自治体協議会の共催による「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真展～被爆から65年」のオープニングに吉原長崎市議会議長と非核特使の山脇佳朗(やまわきよしろう)氏とともに出席。英国における原爆展の関心は高く、マンチェスター市長をはじめ、英国・アイルランド非核宣言自治体協議会会長のほか、平和団体関係者や一般市民など100名ほどの方々が参列する中、被爆地の市長として核兵器の非人道性を訴えました。

また、「英国・アイルランド非核宣言自治体協議会運営委員会」に出席し、日本非核宣言自治体協議会の会長として、世界の自治体が連携して、政府を動かす原動力となることが必要であると訴えたほか、マンチェスター市の非核都市宣言30周年を祝う記念式典や、2020ビジョンキャンペーン協会役員会・運営委員会に出席。非核特使の山脇氏の被爆体験講話にも同行し、中学生や高校生との交流を深めました。



ご協力に感謝申し上げます!

2020ビジョンキャンペーンを支援する 2つのチャリティーコンサート (2010年12月)

2010年12月、平和市長会議が推進する2020ビジョンキャンペーンを支援する2つのチャリティーコンサートが広島で開催されました。

12月11日、12日の両日は、平和のために自分たちも何かしたいという中・高校生によるもの、同13日は、今後10年チャリティーコンサートが続けたいと宣言してくださったギタリストの長野文憲さんなど地元演奏家によるもので、様々なジャンルの演奏で聴衆を魅了しました。

両コンサートの収益はそれぞれ、2020ビジョンキャンペーンの活動支援のため平和市長会議に寄附されました。

平和の輪をひろげるチャリティー募金 (2011年2月)

2011年2月27日に藤沢市で行われた「湘南藤沢市民マラソン」にあわせて実施された「平和の輪をひろげるチャリティー募金」に寄せられた募金の一部を平和市長会議に寄附していただきました。

秋葉会長がロシア・アルゼンチンを訪問 (2010年9月、10月)

2010年9月、秋葉会長は、平和市長会議副会長都市であるボルゴグラード市を訪問し、「ボルゴグラード市の日」記念行事に出席し交流を深めるとともに、近隣市の代表とも面会し、平和市長会議への加盟などロシアでの核兵器のない世界に向けた活動について協力を訴えました。また、首都モスクワ市を訪問し、モスクワ市長やゴルバチョフ元大統領、国会議員等に面会して2020年までの核兵器廃絶に向けた協力を要請しました。

10月には、アルゼンチンのブエノスアイレス市及びマルデルプラタ市を訪問し、「ラテンアメリカ自治体週間」の関係行事に出席して2020ビジョンキャンペーンへの理解と協力を求め、中南米地域における平和市長会議加盟を促進しました。また、民間国際教育交流団体AFS主催の「世界平和フォーラム」に出席し、核兵器廃絶に向けた国際世論の喚起に努めました。あわせて、アルゼンチンの首相や外相に面会し、2020年までの核兵器廃絶に向け、理解と協力を求めたほか、現地の平和NGOとの連携を強化しました。



広島市長・長崎市長への第1回 ゴータマ・ブッダ国際平和賞 受賞が決定 (2011年1月)

～ネパール政府から、授賞式は5月～

ネパール政府は2011年1月13日、核兵器のない世界の実現に向けた秋葉広島市長(平和市長会議会長)・田上長崎市長(同副会長)の貢献を高く評価し、第1回「ゴータマ・ブッダ国際平和賞」を授与することを決定しました。授賞式は、5月17日に釈迦の生誕地であるルンビニー(ネパール)で行われる予定です。

ノーベル平和賞受賞者 マイレッド・ マグワイア氏が平和市長会議を ノーベル平和賞候補に推薦 (2011年1月)

2011年1月28日、北アイルランド在住のノーベル平和賞受賞者マイレッド・マグワイアさんが、「2011年のノーベル平和賞に日本被団協(日本原水爆被害者団体協議会)と平和市長会議の両団体を推薦した」と発表しました。



平和市長会議としては、取組を高く評価していただき、大変名誉なことと受け止めており、今後も2020年までの核兵器廃絶を目指し、全力で努力したいと考えています。

自治体と市民の連携で平和を目指す！～日本各地の取組から～

日本各地で、複数の自治体や市民団体と連携して平和への取組が実施されています。昨年6月以降の取組事例の一部をご紹介します。

■やまぐちピースフォーラム (2010年6月30日 山口県山口市)

コープやまぐちなど5団体が山口県ピースアクション実行委員会をつくり、「やまぐちピースフォーラム～秋葉広島市長と共に考える核兵器のない未来～」を開催しました。フォーラムには、山口県内8自治体の首長・副首長を含め475人が参加し、自治体と市民と一緒に活動を進めて行こうという一体感に包まれました。



■平和を願う市民の集い2010 (2010年7月24日 千葉県千葉市)

市民でつくる「平和を願う市民の集い2010実行委員会」が「平和を願う市民の集い2010ー地域から平和を創るー」を開催しました。この集いでは、平和市長会議加盟自治体の千葉市長、佐倉市長、白井市長、長生村村長が広島市長を交えて「地域から平和を創る」をテーマにパネル討論を行いました。

また、パネリストの4自治体以外に千葉県内から5自治体の関係者が出席したほか、14自治体の首長からメッセージが寄せられ、自治体と市民が共に核兵器のない世界に向けた気運を高めました。



■平和の輪をひろげる湘南・江の島会議 (2010年11月27、28日 神奈川県藤沢市)

藤沢市市制施行70周年行事として、「核兵器のない平和な世界を目指して」をテーマに「平和の輪をひろげる湘南・江の島会議」が開催されました。この会議には、神奈川県下34自治体のうち23自治体の首長を含む関係者、平和団体、NGO、市民の約700人が参加しました。

広島市長、長崎市長も参加し、特別講演を行うとともに、パネルディスカッション、自治体関係者の会議、市民・NGOとの交流会議に参加し、議論を深めました。

この会議では、神奈川県知事を始め県内34首長全員の連名による「湘南・江の島 かながわ自治体平和アピール」が採択されました。県内全ての首長が、共同アピールという形で、期限を定めた核兵器廃絶への意志を表明したことはこれまでに例がない画期的な取組で、全国的な核兵器廃絶への気運醸成の大きな契機となることが期待されます。



■ひらかた平和教育シンポジウム(2011年2月6日 大阪府枚方市)

枚方市平和の日記念事業として、「平和な未来をこども達に」をテーマに「ひらかた平和教育シンポジウム」が開催されました。このシンポジウムには、平和団体、各種団体、市民ら約600人が参加し、平和学習・平和教育の今後の方向性を参加者みんなで考えました。

広島市長、長崎市長が基調講演を行い、続いて竹内枚方市長、海老根藤沢市長とともに「平和教育の充実について」パネルディスカッションを行いました。また、枚方市立樟葉西小学校6年生のみなさんが平和メッセージを朗読し、市民合唱団が平和の歌を披露するなど、全員で非核平和の思いを共有しました。

また、このシンポジウムでは、参加者全員が核兵器のない平和な未来をこどもたちに届けるため行動していくことを誓う「ひらかた平和教育シンポジウム」緊急アピールが採択されました。



● **最近の主なトピック** (2010年7月～2011年2月) ●

- 7. 27-29 2020核廃絶広島会議を開催。ヒロシマアピールを発表。
- 2010. 8. 2 秋葉広島市長(平和市長会議会長)がマグサイサイ賞を受賞。
(授賞式は8. 31フィリピン・マニラ市)
- 2010. 8. 25-30 IPPNW(核戦争防止国際医師会議)世界大会に平和市長会議代表が参加。(スイス・バーゼル市)
- 2010. 9. 4-9 秋葉会長がロシア・ボルゴグラード市、モスクワ市等を訪問。
- 2010. 9. 14-15 スイス政府及び中堅国家構想(MPI)主催の会議に平和市長会議代表が参加。
(スイス・ジュネーブ市)
- 2010. 10. 13 米国が9月15日に実施した臨界前核実験に対し、役員都市市長の連名による抗議文を送付。
- 2010. 10. 11-18 秋葉会長がアルゼンチン・ブエノスアイレス市等を訪問。
- 2010. 10. 13 ラテンアメリカ自治体協議会(FLACMA)との間で2020年までに核兵器を廃絶するための協力関係を
確認する文書に署名。(アルゼンチン・ブエノスアイレス市)
- 2011. 11. 1 新たに5か国・地域から初めて自治体が平和市長会議に加盟。149か国に加盟の輪が広がる。
- 2010. 11. 4-5 非核宣言自治体協議会30周年記念行事及び平和市長会議2020ビジョンキャンペーン協会役員会・
運営委員会の開催。田上長崎市長(平和市長会議副会長)が参加。
- 2010. 11. 11 ブラジル自治体協議会が平和市長会議と協力提携。(ブラジル・カンピーナス市)
- 2010. 11. 20 都市・自治体連合(UCLG)第3回世界大会で2020ビジョンへの賛同を含む最終宣言採択。
メキシコ自治体協議会(AALMAC)との協力関係を確認する文書に調印。(メキシコ・メキシコ市)
- 2010. 12. 3 南米南部の自治体団体(Mercociudades)が平和市長会議との協力文書に調印。
(ブラジル・ペロオリゾンテ市)
- 2011. 1. 5 秋葉市長(平和市長会議会長)がジーン・メイヤー博士地球市民賞を受賞。
- 2011. 1. 13 ネパール政府が広島市長・長崎市長への第1回ゴータマ・ブッダ国際平和賞の授与を決定。
- 2011. 1. 28 ノーベル平和賞受賞者マイレッド・マグワイア氏が平和市長会議をノーベル平和賞候補に推薦。
- 2011. 2. 1 加盟都市数が4,500を突破。(150か国・地域4,515都市)
- 2011. 2. 8 自治体ネットワークFALが2020ビジョンに賛同する最終宣言を発表。(セネガル・ダカール市)

平和市長会議加盟都市数が4,500を突破

2011年3月1日現在

～加盟都市が150か国・地域 4,540都市に～

皆様の多大なる御協力により、平和市長会議の加盟都市数は、150か国・地域の4,540都市に達しました。そのうち日本国内の加盟自治体は906で、全国の自治体の過半数となりました。

海外では、10月から11月にかけて、アルメニア、アイスランド、エルサルバドル、グアテマラ、プエルトリコ、モザンビークの6か国・地域から初の加盟があったほか、メキシコ、アルゼンチン等ラテンアメリカ地域を中心に多くの自治体が加盟しました。引き続き、核兵器廃絶に向けた都市連帯の輪の更なる拡大を推進しますので、皆様の御協力をお願いいたします。

〔地域別加盟状況〕 2011年3月1日現在

地域名		加盟都市数
アジア	29か国・地域	1,328都市
オセアニア	9か国・地域	112都市
アフリカ	40か国・地域	252都市
ヨーロッパ	45か国	2,152都市
北アメリカ	3か国・地域	261都市
ラテンアメリカ・カリブ海地域	24か国・地域	435都市
計	150か国・地域	4,540都市



◎ **お知らせとお願い** ◎

- 事務局ではEメールを利用した加盟都市相互の情報交換や事務局からの連絡等のため、各都市のメールアドレスを整理しています。メールアドレスの新規登録・変更、市長の交代等がありましたら是非とも事務局へ御連絡下さい。

2020ビジョンキャンペーンの展開に伴う寄附金募集

平和市長会議では2020ビジョンキャンペーンの世界的な展開のため、加盟都市をはじめ企業、個人等の皆様へ活動支援の募金を呼び掛けています。是非とも御協力をお願いいたします。

【受入口座】

銀行名：広島銀行広島市役所支店
口座番号：普通預金 3004641
口座名義：核兵器廃絶のための緊急行動実行委員会

平和市長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5
(財)広島平和文化センター平和連帯推進課内
Tel:082-242-7821 Fax:082-242-7452
E-mail:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp
URL:http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html